

頑張れ！もっと引っ張れ！
— 夏休み恒例 カブトムシ綱引き大会 —



カブトムシ綱引き大会の様子（記事は24頁）

まつら

Matsuura

Contents

特集 この夏大活躍！ 松浦市の若きアスリートたち……	2～5
インフォメーション……	8～16
とき 旬の人……	17
まちの話題……	18～20
わがまちの夏まつり……	23
夏休みの思い出アルバム……	24～25
リレーエッセー……	30

まつら
創作都市
次世代を担う

9月号

2009

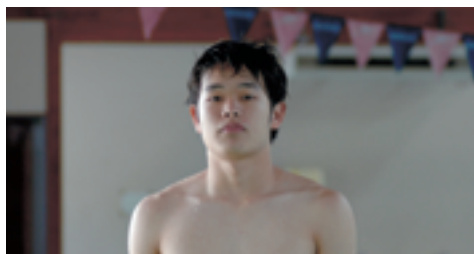
No.45

特集 この夏大活躍！ 松浦市の若きアスリートたち

この夏、市内の中・高生のスポーツでの活躍が目立ちました。

中学生は、長崎県中学校総合体育大会（県中総体）でこれまでにない多くの生徒が上位入賞を果たし、高校生は全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場や全国高校野球選手権大会（夏の甲子園）出場を果たすなど、その活躍には目を見張るものがありました。

今月号では、県中総体で上位入賞を果たし九州大会や全国大会出場の切符を手にした中学生、インターハイ出場や甲子園出場を果たした高校生に注目します。



◎水泳 男子 50 m自由形・男子 100m 自由形

県中総体 1 位

「県中総体での2冠達成は今までなかったのうれしいです」と喜びを語る太田君は、100m 自由形 56 秒 76 の記録で九州大会出場を決め、50m 自由形では全国大会参加標準記録の 25 秒 79 を上回る 25 秒 44 の記録で全国大会出場への切符を手に入れました。

保育園年長のころ、友達がやっているのを見て、自分で決めて始めたという水泳。現在は、ビートスイミング相浦プールで毎日2～3時間7～8き、土日はその2倍泳いでいます。

九州大会は8月7日から別府市で開催され、50m 自由形、100m 自由形の2種目に出場し、50m 自由形で見事6位入賞を果たしました。

御厨中3年

太田 ^{かいり}快陸 君（星鹿・大石、15）



◎陸上競技 男子共通 400m

県中総体 2 位

福島中3年

森 ^{しょうへい}翔平 君（福島・福崎、15）



佐世保市総合グラウンド陸上競技場で行われた県中総体陸上競技。森君は、男子共通200mと男子共通400mに出場し、男子共通400mで52秒77の記録で2位の成績を収めました。

森君は、小学3年生のとき、母親に勧められて陸上を始め、それ以来いつも母親と一緒に練習に励んできました。現在は、国見台総合運動公園の陸上競技場などで2～3時間練習をしています。

九州大会では、惜しくも決勝進出にはなりませんでした。県大会を上回る52秒35の記録を出し、目標である自己ベスト更新を果たしました。

森君は「単独でやっているのが不安もありますが、福島中学校の松山先生と母の指導のおかげで九州大会などに出場できるようになりました。大変感謝しています」と話していました。

◎陸上競技 男子共通 3000m

県中総体 2 位

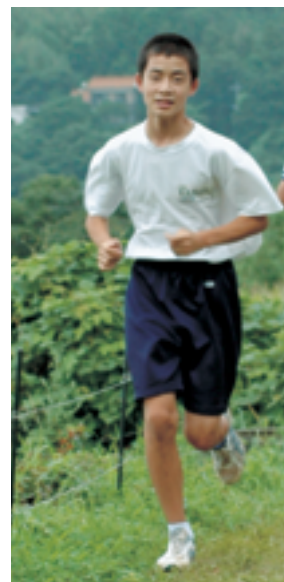
調川中 3 年

^{りょうへい}
坂本 竜平 君 (調川・江口 2、15)

佐世保市総合グラウンド陸上競技場で行われた県中総体陸上競技。坂本君は男子 3 年 1500m と男子共通 3000m に出場し、男子共通 3000m で自己新記録の 9 分 5 秒を出し、2 位の成績を収めました。

調川中学校には陸上部がないため普段はテニス部に所属し、テニスと陸上の練習を両立している坂本君。「夏休みは朝 9^時。走った後テニスの練習をし、また夕方には 9^時。走るという毎日を送っています。いつも指導してくださる先生や応援してくれる両親、友だちなどのおかげで県大会でも上位入賞ができました」と話しました。

自分の走りを意識して最後まで粘り強く走りたいと臨んだ初めての九州大会では、緊張したものの 11 位という成績を残すことができました。



◎剣道男子 団体

県中総体 3 位

御厨中男子剣道部

写真前列左から^{よしひこ}**田中 良彦**顧問、^{つばさ}**大石 翼**君、^{けんじろう}**林 健二郎**君、^{けんた}**倉橋 賢多**君、

写真後列左から^{ともり}**寺山 朋徳**君、^{たつや}**若松 達矢**君、^{こうすけ}**下田 鴻亮**君、^{しげよし}**白波 重義**君、



諫早市森山スポーツ交流館で行われた県中総体剣道。御厨中学校男子剣道部が 3 位に入賞し、九州大会への出場権を手にしました。県中総体での 3 位入賞は 2 年連続。今年は開催地であるため 3 位入賞まで九州大会への出場権が得られ、約 20 年ぶりの快挙となる九州大会出場を果たしました。

御厨中男子剣道部の部員は、12 人。中学校で週 2 回練習するほか、週 3 回それぞれが所属する興星館（星鹿）と田代（田代）で練習に励んでいます。

主将の林健二郎君は「部員は皆仲が良いので、この仲間で県大会での上位入賞を果たし、九州大会に出場できたことがうれしいです。九州大会では、決勝トーナメント進出はできませんでしたが、皆全力で戦ったので悔いはありません」と話しました。

◎なぎなた

インターハイ出場

松浦高校

写真左から^{ちひろ}鈴立 千尋 さん、^{のぞみ}川浪 望 さん、^{ゆうこ}鈴立 裕子 さん、^{ゆかり}内田 有華利 さん、^{かなみ}原 可奈美 さん



県内唯一の松浦高校なぎなた部。部員数は3年生3人と1年生2人。6月6日に松浦スポーツセンターで行われた県高校総合体育大会での個人上位入賞者と団体の部が、7月29日から31日に奈良県で行われたインターハイに出場しました。

団体、演技の部は惜しくも決勝トーナメントに進出できなかったものの、個人の部で内田有華利さんが見事5位入賞を果たしました。

内田さんは「先生や両親に恩返しをするつもりで試合に臨みました。もう一つ上に行きたかったという悔いは残っていますが、インターハイ5位という目標は達成できました」と話し、国体出場が決定したなぎなた部の主将原可奈美さんは「お互いに厳しく練習に取り組んでいます。もっと実力をつけて上を狙いたいです」と意気込みを語りました。部員はインターハイが終わっても休むことなく、国体での上位入賞を目標に練習に励んでいます。

◎野球

甲子園出場

伊万里農林高校 2年

^{ゆうや}清田 悠也 君（福島・伊万里釜、17）

福島町の清田悠也君が第91回全国高校野球選手権大会（夏の甲子園）に出場しました。

地元少年野球チームで小学校3年生から野球を始め、その当時からずっとファーストを守ってきた清田君。中学校のころから甲子園に行きたいと強く思うようになり、伊万里農林高校で甲子園を目指しました。高校に入ってから、ファーストのポジションを獲得するため、練習が終わってからも学校でその日の課題を克服するために自主練習を重ねてきました。

甲子園出場をかけた佐賀大会決勝戦ではサヨナラヒットを放ち、逆転勝利に大きく貢献しました。そして8月12日、甲子園球場。清田君が所属する伊万里農林高校は1回戦で横浜隼人に破れ、甲子園での初戦突破はありませんでしたが、清田君は夢の大舞台でもヒットを放つなど、多くの市民に感動を与えてくれました。



今回は中総体、高総体を中心に活躍した選手を取り上げましたが、このほかにも市内には、さまざまな大会で九州大会や全国大会に出場するなど、活躍している若きアスリートたちがいます（21ページでも紹介）。

これら若きアスリートたちの活躍は、市民に大きな夢と感動を与えてくれます。近い将来、市内から日本を代表するアスリートが誕生するかもしれません。

受賞おめでとうございます

献血推進大会で表彰

第 45 回献血運動推進全国大会（厚生労働省、日本赤十字社、県主催）が 7 月 16 日、佐世保市のアルカス SASEBO で開催され下記の方が表彰されました。

同大会は、献血への理解と協力を呼び掛け開催されたもので、日本赤十字社名誉副総裁の皇太子さまをはじめ県内外から約 2000 人が参加しました。

本市に係る表彰者の主な方は以下の通りです。

【知事感謝状】

・献血協力団体

（社）長崎県 L P ガス
協会松浦支部

【日本赤十字社

長崎県支部長感謝状】

- ・西日本プラント(株)
松浦営業所
- ・九電産業(株)松浦営業所



長崎県 L P ガス協会松浦支部
支部長の玉城昭さん

海難救助で表彰状

^{ひろはる}石井紘治さん（福島・鍋串、66）に 8 月 6 日、伊万里海上保安署から海難救助の表彰状が贈られました。

7 月 28 日の朝、福島町鍋串漁港の防波堤に魚釣りに来ていて誤って海に転落した小学生を、石井さんが船に引き上げ救助したことに対して贈られたものです。

石井さんは、「かご漁に向かう途中で、防波堤上で手招きしている人に気付き、近寄ってみると子どもが海に浮いていました。子どもが救命胴衣を着ていたことと落ちてすぐに気付いたことで、無事子どもを救助することができたと思います。けがもなく無事救助できてホッとしました」と話していました。



^{あやこ}吉本綾子さんと谷口シズエさんが 100 歳

谷口シズエさん（調川・江口 3）が 8 月 11 日、入院中の木村内科循環器科（調川町）で 100 歳の誕生日を迎え、三男の谷口^{たくみ}工さんの家族と 100 歳を祝いました。

谷口さんは現在子ども、孫、ひ孫が合わせて 29 人。下肢が少し不自由されていますが、日ごろは皆さんが集まる所に行って話をすることを楽しみにしておられ、元気に過ごしておられます。この日、友広市長からお祝いの言葉や花束を受け取った谷口さんは「ありがとうございます」としっかりした声で答えていました。

また 8 月 2 日には、吉本綾子さん（志佐・笛吹）も、自宅で 100 歳の誕生日を迎えられています。

2 人を入れて市内の 100 歳以上の人は、15 人になりました。



市長から花束を受け取る谷口シズエさん



100 歳を迎えられた吉本綾子さん

「敬老の日」に寄せて

朝夕はやつと秋らしい爽やかな季節となりましたが、今年の夏は例年になく、ぐずついた天候が続き、水稲をはじめ農作物への影響を懸念いたしております。

敬老の日を迎えるにあたり、皆さまのご長寿を心からお慶び申し上げますとともに松浦市民を代表して一言ご挨拶申し上げます。

松浦市では、現在、70歳以上の方が約6,000人おられます。皆さまは、明治、大正、昭和、平成と激動の時代を歩まれ、数多くの困難を乗り越えられ、ご家族をはじめ、今日の松浦市の基礎を築いてこられました。そのご努力、ご功績に対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げる次第でございます。

私たちは、皆さまのような人情味あふれる素晴らしい人々と豊かな自然を大切に、松浦市民が「住みつけたい」、松浦を訪れた人々も「また訪れたい」、「住んでみたい」と実感できるまちづくりを目指しています。ご高齢の方にとっても安全安心で住み良いまちづくり、保健、医療、福祉のさらなる充実に関しても努めてまいります。新生松浦市としても4年目を迎えますが、これまで市民皆さまのご協力のもと財政の健全化に先行して取り組み、ようやく収支均衡がとれるまでに改善したところです。これからは総合計画に掲げる「次代をはぐくむ 産業創造都市 まつうら」として、その実現に向けた各種施策に引き続き取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、これまで培ってこられた大変貴重な経験をぜひ生かしていただき、松浦市政の推進に対し、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。すとともに、益々お元気で活躍くださいますよう心からご祈念申し上げ、お祝いのごことばいたします。



平成21年9月

松浦市長 友広 郁洋

「長崎国体パネル写真展」巡回展を開催

前回の長崎国体（昭和44年第24回長崎国体）の思い出の場面を集めたパネル写真と平成26年開催の第69回長崎国体の概要を展示します。

当時選手として出場した皆さん、裏方として大会を支えた皆さん、会場で応援した皆さんに、数多くの感動を思い起こしていただきたいと思います。

なお本市では、「ウェイトリフティング競技」が松浦高等学校と志佐中学校の体育館で行われ、世界新記録をはじめ、日本新、大会新など数多くの記録が生まれました（写真：当時の様子）。

今回の巡回展により、平成26年（2014年）に開催される第69回長崎国体に向けて、この感動を若い世代に伝え、全国から集まる人々を県民みんなで温かくおもてなしする「長崎県らしい魅力あふれる大会」を実現できるよう、また本市で開催される「なぎなた競技」の成功に向けた機運向上へつなげていきたいと考えています。

○期日 9月11日（金）～24日（木）

○場所 市役所1階ロビー 北玄関側

○問合せ先 生涯学習課国体準備室



◀昭和44年、前年度開催の福井県からリレーされた大会旗は福島橋で炬火と合流し、本県に第一歩を印しました。



▶三宅義信選手がトータル400kgをあげ、世界新記録を出し、当時の市報の表紙を飾りました。



ふるさとの恵みをふるさとでいただく キーワードは「地産地消！」

市政 ピックアップ

市では、「定住促進」や「交流人口拡大」などで市がさらに元気になるさまざまな取り組みを行っています。このコーナーでは、市が計画または実施しているその取り組みの中からピックアップして紹介します。

取り上げた事業の中で不明な点や、取り上げてほしい事業などがありましたら総務課秘書広報係が担当課までお尋ねください。

今回紹介する取り組み

最近の食を取り巻く環境は、生産者と消費者の距離が物理的にも心理的にも遠くなり、相互の関係が希薄になってきています。

また、食品の産地偽装やBSE、鳥インフルエンザ問題などを契機として、食品の安全・安心や地域農林水産業の後継者不足や耕作放棄地の問題など、第一次産業に対する市民の意識が高まっています。

このような中、食と農林水産業が抱えるさまざまな問題を解決する一つの方法として、「地産地消」がクローズアップされています。

そこで今月号では、本市で進めている地産地消の取り組みについてお知らせします。

地産地消とは？

地産地消とは、文字どおり地域生産、地域消費の略語です。

消費者からいえば近くで作られているものを消費する（食べる）、生産者からいえば消費する人の近くで作る、という意味の言葉です。

現在は流通が発達し、いわば「遠産遠消」になり、地元が無いもの、定期的に地元では手に入らないものでも遠くから運ばれ、いつでも欲しいものが手に入るようになり、消費者にとって

は大変便利な時代になっています。

しかし、地域の農林水産物はその地域の環境によって育てられたものであり、健全な農林水産業は健康な環境を守る役割があります。このことは、地域の環境や生活の質の向上を目指すことで地域の自立性を高め、地域で生活する消費者にとっても大きな意味を持つことになります。

地産地消の役割と効果

地産地消の取り組みには、以下に掲げるような役割と効果があります。

- 【安全・安心な農水産物の消費者への提供】
- 【顔が見え、話ができる「信頼関係の構築」】
- 【農水産業者の所得の多様化】
- 【経済循環による地域活性化】
- 【流通コストの低減】
- 【食育活動の推進】
- 【地域の伝統的食文化の継承】
- 【過疎化の抑制・耕作放棄地の解消】



地域の青年農業者による
食育活動の様子

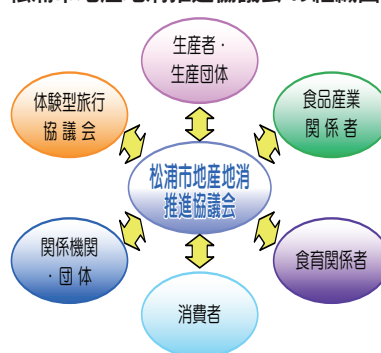
本市の取り組み

平成20年11月に平成20年度から24年度までの5年間の計画として策定した「松浦市地産地消推進計画」では、次の7つを重点として地産地消を進めることとしています。

- ① 新たな生産・物流システムの構築
- ② 販売ルートの拡大
- ③ 食育の推進と新たな食文化の創造
- ④ 地産地消に関する情報の発信
- ⑤ 農林水産物のブランド化
- ⑥ 消費者・生産者の交流促進
- ⑦ 観光関連組織及び体験型旅行協議会との協働

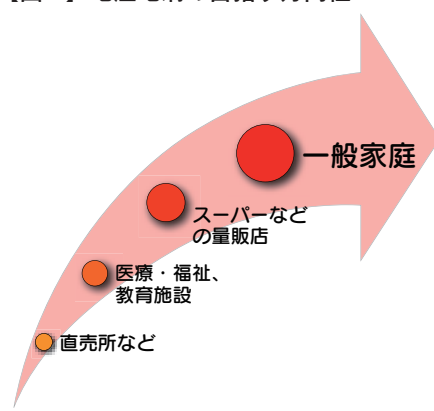
この中の最初の取り組みとして、「松浦市地産地消推進協議会」を3月に設置しました。この協議会は、【図1】に示すとおり、農林水産業団体、生産者、流通・加工業者、販売者、消費者の連携によって、具体的な地産地消の推進策を協議しており、現在までに4回の協議を行いました。

【図1】松浦市地産地消推進協議会の組織図



また、地産地消の目指す方向性として、現在、直売所を中心として市内各地で行われている地産地消の取り組みをネットワーク化し、市内全域を網羅するとともに、【図2】「地産地消の目指す方向性」に示するように、「医療・福祉、教育施設」そして「スーパーなどの量販店」へ、最終的には「一般家庭」まで地産地消が浸透していくことを目標としています。

【図2】地産地消の目指す方向性



現在までの取り組み

地産地消の推進のためにはさまざまな取り組みが必要となりますが、その中から特に重点として取り組み内容を整理するため、この協議会に生産部会と消費部会の2つの部会を設けています。

それぞれの部会と全体会という形で「地産地消の推進のために何が課題となっているのか」を協議した結果、生産部会からは「地産地消マ―

ケットに出荷するためには、大量出荷である市場出荷と異なった、少量出荷に対応した新たな流通システムが必要」との課題が出されました。また、消費部会からは、「生産物を一定量確保するために、地域生産物を把握し、取りまとめなどを行う組織が必要」との課題が出されています。



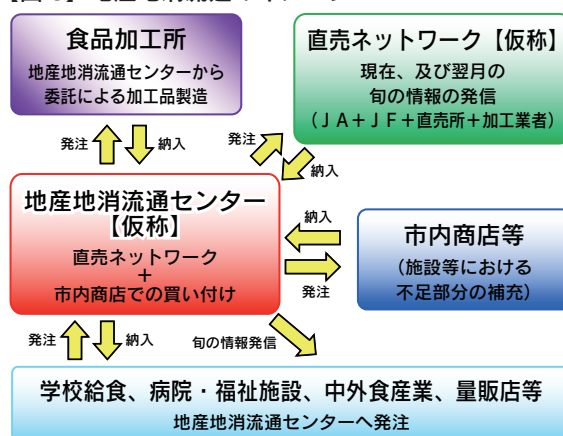
第1回松浦市地産地消推進協議会の様子

今後の取り組み

協議会での協議の結果、当面の方針として、必ず一定量の消費が見込まれる「学校給食の地産地消のさらなる推進」の取り組みを行うこととなりました。

本市の学校給食の現状は、米飯給食のお米は100パーセント松浦産の米が使われており、野菜でも30パーセント以上が市内産、また魚介類の加工品の一部も市内産が使われています。全

【図3】地産地消流通のイメージ



国と比べても地産地消率が高い地域となっていますが、さらに地産地消を推進します。

具体的には【図3】「地産地消流通のイメージ」にあるように、生産の拠点として、「直売ネットワーク（仮称）」を作り、計画的な生産を行うとともに、消費の拠点として「地産地消流通センター（仮称）」を設置し、旬の食材の情報を生かした地元食材の提供を行う予定です。

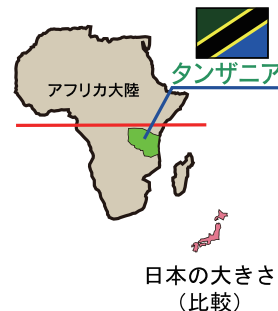
また、将来的には、この「直売ネットワーク（仮称）」と「地産地消流通センター（仮称）」を活用することで、医療や福祉分野への地域生産物の提供や、中外食産業、量販店などへの出荷を目指して地産地消を推進していきたいと考えています。

【問合せ先】 農林課



青年海外協力隊員からの便り —タンザニア (アフリカ)—

独立行政法人国際協力機構（JICA）から青年海外協力隊員として派遣されている市職員久保智里さんからの便りを紹介します。久保さんは、平成20年6月から約2年間、タンザニアのイリング州立図書館に司書としてデータベース化や職員の資質向上の手助けを行っています。なお、イリング州は郵便や通信環境が整っていないため、まとめて届いたものを掲載します。



仕事の紹介をします。データベース化の推進、図書館業務をOJTで指導。新しいサービスの展開。との要請で赴任しました。

コンピュータは前任者によって日本からの支援で1台設置されています。現在フリーのデータベースソフトを利用しデータベース化を進めています。

担当者は前任者のカウンターパートだったのですが、現在、司書養成学校へ就学中。彼女が帰るまで、そして私が赴任するまで、秘書の1人が細々と図書館の登録を進めてくれていました。彼女が図書、私が利用者のデータベース化を行っています。

タンザニアの中央図書館はドイツからの援助で新システムを州図書館へも導入する事を決定しました。1年半ほど前に半年後には州への導入をと話していたそうですが、未だ話はありません。そこで、新システムが導入されても、中央館からのデータ提供が困難と思われる当館利用者の登録を最優先事項に進めています。新システム導入時、ママ達の混乱が目につかびます。少しでもスムーズに移行できれば、と気持ちは焦っているのですが…そんな私の気持

ちなど知る由もなく、Chisato-karibu chai!upunzike! (チサトー、お茶においで。休憩しなさい!)と今日もまた声がかかります。

久保 智里

▶ 図書登録を進めるママ・チャンデ。思慮深く優しい彼女は頼りになる存在です。



▲ 小休憩。誰かが持参してくれたご飯を皆で戴きます。この日は、キリマンジャロの麓に住むチャガ族の料理でした。

タンザニアに着いた当初から、思わず見とれてしまうもの。どこまでも広がる空の青さ、夕日の美しさ。たわなに実る果物。人々の逞しさ。子ども達の笑顔。そんな数ある中でも、1、2位を争うのが頭に物を載せる技術。自分の身長より長く、腰回り程もある木の束を載せ歩く人達もあれば、火がついた炭ジコ（炭を用いる調理器）を頭に載せ、その上に鍋を載せ歩く人もあり（歩きながら料理?）、大きな皿の上に果物を載せ売り歩く人（「ハンダのびっくりプレゼント アイリーン・ブラウン 光村教育図書 2006」そのまんまの子ども達がいます）。子ども達も学校のかばん、スリッパやノートまで頭に載せて闊歩しています。おおよそ載せられる物は何でも載せて歩くのが流儀のようです。

近所の子が、水の入ったタンクを指し、一人では上げられないから頭に載せるの手伝って。と言ってきました。腕であげることができないものが頭に載せられるものかと言ったのですが、彼女は笑って、手で持てないから頭に載せるんだ。と言います。私もできる。と言われ、

チャレンジ…してみたのですが、載せる前に生命の危険を感じやめました。その後彼女は、その水が一杯に入った40ℓのタンクを頭に載せ何もなかったように去っていきました。

頭に大きな荷物をのせ、背中に子どもを背負い歩く女性。アフリカの大地のような逞しさを感じます。彼女達の姿勢のよさもここから来ているのでは?と背中に見とれる日々です。

久保 智里



▲ 水汲みは大切な仕事。どこから来た子ども達でしょうか、何度往復するのでしょうか。おしゃべりをしながら森の中へ消えていきました。

「三井住友海上文化財団派遣コンサート」

TROUVÈRE QUARTET

トルヴェール・クワルテット

○ **日時** 10月18日(日)

開場＝午後1時30分

開演＝午後2時

○ **会場** 松浦市文化会館
「ゆめホール」

チケット
発売中!

○ **料金 (全席自由)**

大人 1,000円 高校生以下 500円

(当日券は各 500円増)

※(財)三井住友海上文化財団の助成により

低料金に設定しています。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

○ **チケット取扱先** 文化会館、教育委員会、教育委員会
福島分室・鷹島分室、きらきら21、各市立公民館

○ **主催** 松浦市、松浦市教育委員会、長崎県、(財)三井住友海上文化財団

○ **問合せ先** 文化会館 ☎0956-72-5758



ジャイカ

JICA「青年海外協力隊」平成21年度秋募集

独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」という）では、平成21年度の秋募集として、下記の要領で「青年海外協力隊」を募集します。

青年海外協力隊とは、技術や経験を生かして開発途上国の人々と共に生活し、相互理解を図りながら、彼らの自助努力を促進させる形で協力活動を展開していく海外でのボランティアです。

【募集人数】約1,400人

【募集分野】農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツ、計画・行政の8部門、約120職種

【派遣国】アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東、計約80カ国

【募集期間】10月1日(木)～11月9日(月) 消印有効

【応募資格】満20歳～満39歳の日本国籍を持つ人

【派遣までの流れ】応募⇒一次選考(書類選考)⇒二次選考⇒派遣前訓練⇒派遣

- ・一次選考＝所定の応募書類(健康診断書含む)に必要な事項を記入し郵送(※11月9日(月)必着)
- ・二次選考＝面接・語学試験・健康診断・実技試験(該当職種のみ)

【派遣期間】1年間または2年間(赴任形態：単身赴任)

【待遇等】JICAの規程に基づき、往復旅費、現地生活費、住居費、国内積立金などを支給

【現職参加】JICAでは、参加しやすい環境づくりのために、企業や官庁など関係各方面に対して、所属先に身分を残したまま参加する「現職参加」促進のお願いをしています。

【体験談および説明会】入場無料、予約不要

○青年海外協力隊および日系社会青年ボランティア

10月17日(土)午後2時～ アルカス SASEBO

○シニア海外ボランティア(※)

10月22日(木)午後6時30分～ 長崎ブリックホール

(※シニア海外ボランティアの応募資格は、満40歳～満69歳)

【資料請求・問合せ先】

JICA デスク長崎 ((財)長崎県国際交流協会)

☎095-823-3931



市役所からの お知らせ

長寿祝金

【対象者】

- ① 米寿 88 歳（大正 9 年 9 月 2 日から大正 10 年 9 月 1 日の間に出生した人）
- ② 喜寿 77 歳（昭和 6 年 9 月 2 日から昭和 7 年 9 月 1 日の間に出生した人）

【支給額】

- ① に該当する人 5,000 円
- ② に該当する人 3,000 円

【支給日】

9 月 1 日（火）から地区民生委員を通じて支給します。

また、米寿の人を対象に県から敬老祝品（県産品）が贈呈されます。

【問合せ先】 福祉事務所福祉総務係

移動相談・消費者トラブル

防止講座

長崎県消費生活センターの消費生活相談員が、あなたの消費者トラブルについて相談をお受けします。

また、消費者トラブル防止講座では、最近身近に多発している事例から予防法までをお知らせします。

希望する人は次へ申し込んでください。多くの参加をお待ちしています。

【移動相談】

日時 9 月 30 日（水）午前 10 時 30 分～正午、午後 1 時～3 時 場所

市役所 3 階小会議室

【消費者トラブル防止講座】

日時 9 月 30 日（水）午後 1 時 30 分～3 時 場所 市役所市民ホール

【申込・問合せ先】

市民相談室または水産商工観光課

農作業安全運動月間

秋の農繁期を迎え、農作業時に農業機械を使用する頻度が増えてくると、農作業事故発生の危険性も高まります。県では、9 月 12 日から 10 月 11 日までの 1 か月間を「秋の農作業安全運動月間」と定め、その啓発に努めています。

農作業事故は、トラクターなど農業機械の運転操作の誤りによる転倒や転落が多く、発生場所は農地以外の道路や敷地内においても多く発生しています。

長時間の作業はこまめに休憩をとりながら行い、機械作業時には万一の事故に処置できるよう、トラクターに安全キャブやフレームなどの安全装置をつけるとともに、2 人以上で農作業を行うように努めましょう。

問合せ先 農林課

インフルエンザ予防接種の実施

インフルエンザ予防接種を下記の通り実施しますので、接種を希望する人は、直接医療機関に申し込んでください。なお、インフルエンザワクチンの有効性や副反応など、詳細は市担当課か医療機関にお尋ねください。

1. 対象者

- ① 接種当日 65 歳以上の人
- ② 60 歳以上 65 歳未満であって一定の心臓や腎臓・呼吸器・免疫機能の障害がある人（医療機関の窓口で、医師の診断書または身体障害者手帳の提示が必要です）
- ③ 市内在住の 1 歳以上小学校就学前までの幼児

2. 接種期間

10 月 1 日（木）～平成 22 年 1 月 30 日（土）

3. 申込方法

事前に医療機関への予約が必要です。直接申し込んでください。予約は 1 か月前から可能です。早めに申し込んでください。

4. 接種回数

- ① 高齢者は、1 人 1 回接種
- ② 幼児は、1 人 2 回接種
（1 回目から 2 回目の間隔は 1～4 週）

5. 接種料金

- ① 高齢者は、1 回につき 3,500 円（自己負担 1,500 円、公費負担 2,000 円）

※「松浦市介護保険料納入通知書兼特別徴収決定通知書」の月別保険料段階区分が 1 の人は、無料となりますのでお問い合わせください。なお、医療機関窓口での受給者証などの提示が必要です。

- ② 幼児は、1 回につき 2,500 円（自己負担 1,500 円、公費負担 1,000 円）

6. 実施医療機関

高齢者はかかりつけの医療機関へ、幼児は市内予防接種実施医療機関へお問い合わせください。

7. 健康被害救済制度

予防接種により、疾病や障害などの健康被害が発生した場合には、健康被害の救済が行われます。ただし、予防接種と疾病・障害などとの因果関係を認定したものに限りです。

8. その他

予診票は、市役所健康ほけん課、子育て・こども課、鷹島支所、福島保健センター、医療機関にあります。

○問合せ先

【高齢者】 健康ほけん課

【幼児】 子育て・こども課

生ごみ袋の使用についてのお願い

市民の皆さまには、ごみ分別と資源化にご協力をいただいています。最近、「生ごみ袋が破れやすい」、「生ごみを入れた途端に袋が裂ける」といった連絡を受けています。

生ごみ袋は、袋自体も最終的に堆肥化する素材になっているため、製造日から約1年を経過すると、熱や湿気などで袋の耐久性（強さ）が徐々に弱くなり破れやすくなります。

現在は、袋自体を厚くして強度を増し、製造年月を表示して、なるべく新しいものを販売するようにしていますが、約1年間の耐用期間は変わりません。使用するときは、買いだめをせずにこまめに買って使用してください。

なお、使用できない袋は市民生活課および福島支所市民課の窓口で交換します。

問合せ先 市民生活課生活環境係

平成21年度松浦市奨学生（後期）募集

資格 ①本市に住所を有する人の子など ②高等学校以上の学校に在学中で、学校長（学長）から推薦された人 ③経済的に困っている人 貸与金額（月額） 高等学校：1万5千円、大学：専修学校：3万円 申込期限 9月25日（金）まで ※他の奨学金、就学一時金との重複貸与はできません。申込・問合せ先 教育委員会庶務課

「おもちゃ作りの会」

手作りおもちゃで子供の目をきらきら輝かせませんか？

お子様はスタッフがお世話しますので、気軽にご参加ください。

○対象 子育て中のママたちまたはおもちゃを作るのが好きな人

○日時 9月24日（木）
午前10時～正午

○場所 松浦市保健センター

○費用 無料

○持参する物 特になし

○作る物

マスコット人形・ぬいぐるみ・布製のボール

○主催 松浦市母子保健推進員

○問合せ先 子育て・こども課

第4回松浦市子ども作品展

市内小・中学生が夏休み期間中に作った作品・自由研究などを展示します。お誘い合わせの上、多数の来場をお待ちしています。

○日時 9月18日（金）～20日（日）
午前10時～午後6時

○場所 文化会館 ふれあいホール

○主催 教育委員会

○後援 松浦市文化協会、松浦市青少年健全育成連絡協議会、松浦市PTA連合会

○問合せ先 生涯学習課



◀ 昨年の作品展の様子

住まいの

あらゆる悩みを！

床板がぶかぶか
壁のしみ・カビ
建具のガタツキ



お家に関するご相談は

株式会社グッド・ハウス



トラブル

「困った」を解決します。

水道の水漏れ
トイレのつまり
給湯器の不具合



☎ 72-3718

松浦市志佐町里免315-4



第24回福島ふるさと祭り出店者・ 第21回福島和船櫓漕ぎ大会出場 者募集

11月1日(日)に福島総合運動公園で開催される「福島ふるさと祭り」に出店を希望する人(団体)および福島和船櫓漕ぎ大会の出場者を募集します。

詳しくは左記まで問い合わせてください。

問合せ先 事務局 宮島 ☎ 0955-47-3111 (福島支所内)



「まつうら出前講座」
を利用しませんか?

生涯学習課では、市民の方々に学習の場を提供する「まつうら出前講座」というボランティア事業を行っています。

現在、「ボランティア編」、「行政編」、「子ども編」の合わせて88講座の多彩なメニューを用意しています(料理、歴史、スポーツ、健康講座など)。市内在住の5人以上のグループであれば、どなたでも利用できます。メニュー表および申込書は、生涯学習課、各市立公民館に備えています(※ホームページでもご覧になれます)。

学習活動のさらなる充実のためにもぜひご利用ください!

問合せ先 生涯学習課

『脳健康教室』学習者および学習サポーター募集 読み書き・計算で脳の健康維持(認知症予防)・増進を!

簡単な読み書き・計算を継続的に学習することで脳の前頭前野が活性化され、高齢者の認知症予防に効果があることが、研究により明らかになってきました。市ではその成果を踏まえ、平成19年度から「脳健康教室」を開催しており、今回も10月から開催します。

教室の内容は、週1回(30分程度)学習サポーターの助言などを得ながら、教材を使ってごく簡単な読み書き・計算を学習するというものですので、気軽にご参加ください。

また、この教室で学習者に対する学習支援にあたるボランティアスタッフ「学習サポーター」を募集します。

	学習者	サポーター
対象者	市内居住の65歳以上の人(要介護認定を受けている人を除く)で、毎週1回の教室への参加と毎日10分程度の自宅学習が可能な人	おおむね65歳までの市民で、高齢者の心身の健康増進に理解のある人 ただし、事前に各1回ずつ行う研修会および学習者説明会に参加可能な人
定員	松浦:20人※超えた場合は抽選になります。 福島:10人※超えた場合は抽選になります。	松浦:10人程度 福島:5人程度
日時	平成21年10月から平成22年3月までの毎週水曜日(※福島は火曜日) 午前9時30分から11時30分まで(学習者はそのうち30分程度)	
場所	松浦:きらきら21(生涯学習センター) 福島:福島保健センター	
費用または謝礼	費用:月額1,575円(教材費など)	謝礼:1回あたり1,000円
応募方法	受付期限までに下記申込先に申し込みをしてください。	
受付期限	9月15日(火)	
申込・問合せ先	松浦:健康ほけん課介護保険係 ☎ 0956-72-1111(内線178) 福島:福島保健センター ☎ 0955-41-3005	

45分 スピーディー車検

105項目の安心点検!!

軽自動車	小型自動車	中型自動車	大型自動車
1,500cc以下	1,500cc以上2,000cc以下	2,000cc以上2,500cc以下	2,500cc以上
車検基本料 9,800円 消費税490円			
登録代行料 無料!!			
法定費用	28,880円	48,770円	61,370円
合計	39,170円	59,060円	71,660円
合計	39,170円	59,060円	71,660円

登録代行料 **0円**

当店で車を購入された方はガソリンが安くなる!!

車購入 **3円/ℓ引** + 車検予約 **3円/ℓ引** = 合計で **6円/ℓ引** (※200ℓまで)

オイル交換 **永久無料**

ピットブラザーズ 204号線・平戸大橋すぐそば
平戸市田平町小手田免1255-1
(有)ニシ・マイカーセンター 営業時間/午前9時~午後8時
年中無休

☎ **0120-751-741**

幸せ、それは健康

医療法人 陽迎堂

武部病院

TEL (0956) 74-0007

松浦市今福町北免2091番地1

外科・内科・整形外科
脳神経外科・リハビリテーション科

通所リハビリテーション(デイケア)・グループホーム たけべ

受講生募集「健康づくり教室」

健康づくりは、毎日の食事から始まっています。市では、「食」の大切さについて学び、実践する食生活改善推進員の養成講座を開催します。健康や食生活に関心のある人は参加してみませんか。

日時 10月27日(火)、11月13日(金)、12月22日(火)、平成22年1月26日(火)、2月23日(火)、3月19日(金)の6日間午前10時～午後3時 **場所** 松浦市保健センター **内容** 健康に関する講座・調理実習 **対象者** 健康づくりに関心がある人および講座終了後、食生活改善推進員として活動できる人 **募集人員** 15人程度 **費用** 調理実習1回につき2000円 **申込期限** 9月18日(金) **申込・問合せ先** 健康ほけん課健康推進係、福島保健センター ☎0955・41・3005、鷹島支所保健師 ☎0955・48・3111

認定司法書士無料相談会

法務大臣の認定を受けた認定司法書士が身近な法律家として市民に貢献するため、次の通り相談会を実施します。相談する人は、事前に電話で予約してください。

日時 9月10日(木)午後1時～4時30分 **場所** 別館多目的相談室 **主催** 長崎県司法書士会 **予約・問合せ先** 総務課行政係

動物愛護フェスティバル 2009

「動物の愛護及び管理に関する法律」では、国民の間に広く動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めてもらうため、9月20日から26日を動物愛護週間と定めています。

長崎県獣医師会北松支部では、今年度から動物愛護精神を伝えるとともに、適正な動物飼育の普及を目的とした「動物愛護フェスティバル」を開催します。

- 開催日時 9月19日(土)
午前10時～午後3時(雨天決行)
- 開催場所 県立北松農業高等学校
所在地: 平戸市田平町小手田免54-1
- 内 容
 - ・北松農高農場見学ツアー
 - ・小動物とのふれあいコーナー
 - ・犬のしつけ方教室(10:30～12:00)
 - ・ドッグラン(12:00～14:00)
 - ・パネル展示 など
- 入 場 料 無料
- 問合せ先 県北保健所
衛生環境課 食品薬務班
所在地: 平戸市田平町里免1126-1
☎0950-57-3933

その他のお知らせ

公証週間中の無料公証相談

10月1日から7日までは公証週間です。遺言や任意後見、離婚給付、賃貸借、金銭貸借などの契約は公正証書で作成すると安心、確実です。

無料相談日時 公証週間中は、平日の午前8時30分～午後5時、10月3日(土)および4日(日)の午前9時～午後4時 **問合せ先** 佐世保公証役場 ☎0956・22・6081

豪雨で被害を受けた皆さまへ

災害により国税の申告、申請、請求、納税などを期限までにできないときは、所轄税務署長に申請すること、期限の延長や納税の猶予がでる場合があります。

詳しいことは、福岡国税局ホームページをご覧ください。

【福岡国税局ホームページ】
<http://www.nta.go.jp/fukuoka/>
問合せ先 平戸税務署

ご融資

生活資金、教育資金、車購入資金、事業資金、他各種フリーローンをご用意致しております。

ご預金

定期預金、定期積金、他各種ご預金をご用意致しております。

ご相談

お金に関するお悩み(生活資金繰りの立て直し等々)なんでもご相談ください。

松浦支店 0120-0892-72

松浦市志佐町里免350-1

佐々支店 0120-0892-68

北松浦郡佐々町本田原免84-1

らいふぱらん 0120-0892-18
センター (365日24時間受付)



長崎県民信用組合

※土日祝祭日もご相談をお受けしております。
※詳しくは、電話又はお近くのけんみん店頭窓口へお尋ね下さい。
※ホームページでもご確認いただけます。▶<http://www.kfp-kenmin.co.jp>



無料調停相談会

弁護士、司法書士など専門的な知識を有する人が多数参加します。身の回りのことで困っている人、どんなにでも気軽に参加してください。

日時 10月2日（金）午前10時～午後8時
場所 アルカスSASERO（佐世保市三浦町2-3 ☎ 0956-42-1111）
主催 財団法人日本調停協会連合会
相談内容 金銭貸借・土地建物・損害賠償・近隣関係・職場関係・夫婦親子・相続・戸籍・その他諸問題について
相談担当者 平戸・佐世保調停協会所属の民事および家事調停委員
問合せ先 長崎地方裁判所佐世保支部庶務課 ☎ 0956-22-9175

第2回危険物取扱者試験

日時 12月6日（日）午前10時～
場所 県立佐世保工業高等学校ほか
 県下10会場

試験の種類

甲種、乙種（第1～6類）、丙種

受験願書の受付期間

9月16日（水）～10月7日（水）

問合せ先

（財）消防試験研究センター長崎県支部
 〒850-0033長崎市万才町6番38号
 明治安田生命長崎ビル1階
 ☎ 095-822-5999

市民の伝言板

第14回西九州親善少年剣道松浦大会

約700人の少年・少女剣士が熱戦を繰り広げます。武道に励む子どもたちを応援ください。

日時 10月4日（日）午前9時30分
場所 文化会館 参加 長崎・佐賀両県から小・中学生約130チーム（うち17チーム約100人は市内）
問合せ先 松浦市剣道協会 高橋 ☎ 090-7453-6355

英会話教室の生徒を募集します

- 講師 ハナ・コンクリン先生
- 対象 市内在住の18歳以上の人（高校生を除く）
- 日時 平成21年10月6日～平成22年6月22日の火曜日、午後7時～8時30分（30回程度）
- 場所 きらきら21
- 定員 30人
- 受講料 一般8,000円（テキスト代別）
 会員6,000円（ ）
- 申込方法 往復はがき（1人に1枚）に、郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入の上、下記に送付してください。
- 申込受付期間 9月7日（月）～18日（金）
 ※定員になり次第締め切ります。
- 申込・問合せ先
 〒859-4598（住所不要）
 松浦市国際親善協会事務局
 （企画財政課内）



ハナ・コンクリン先生

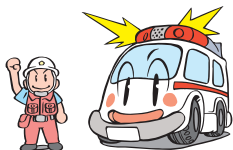
消防だより

松浦地区消防本部 ☎ 0956-72-1211

9月9日は救急の日です。

<救急車を呼ぶ時の注意点>

1. 住所（免、番地まで）と世帯主の名前を教えてください。
2. ケガ人や急病人の名前、年齢、容態について教えてください。
3. 救急車のサイレンが聞こえてきたら、案内人をお願いします。



子供の伸びを実感してください!!

成績アップの秀明館 東進予備校

2学期生募集

募集要項

- ①元気で明るい子 ②初志貫徹の子 ③ベストを尽くす子

中学・高校・大学進学予備校



秀明館 東進予備校

松浦市志佐町里免343-1 川原ビル2F
 （市役所前・親和銀行横）

お申し込みは

0956-72-1158

vol.44

旬の人

小さな学校の 大きなチャレンジ！ — 30人31脚への挑戦 —

星鹿小学校 5・6年生



星鹿小学校（友廣幸穂校長）の5・6年生が、9月22日に県立総合運動公園（諫早市）で行われる「まるたカップ30人31脚長崎大会2009」に挑戦することになり、毎日練習に励んでいます。

30人31脚とは、横一列に並んだ30人が二人三脚の要領で足を紐で結び、50メートルのタイムを競うものです。

今大会に出場するのは5年生16人と6年生23人の合計39人。「星鹿ブルーオーシャンズ39（サーティナイン）」のチーム名で出場します。

昨年、島原市立三会小学校が30人31脚で全国制覇を果たした様子をテレビで見た子どもたちから出場したいとの声が上がリ、今年5・6年生の学級PTA活動の一環として出場することになったものです。

指導に当たっている6年生担任の寺田修一郎先生は「子どもたちは、自分たちで考えて練習し、真剣に取り組んでいます。50メートルを完走することはもちろんですが、30人31脚を通して創意工夫をしながら成長することを期待しています。また、仲間と協力するということがどういふことなのかを感じてほしいですね」と話し、キャプテンの久家大樹君（6年生）は「キャプテンとして皆をしつかり引っ張っていきたいです。10秒をきって長崎大会で優勝し、全国大会に行くことを目標に毎日練習を頑張っています」と話しました。

ミュージカル「龍馬！」公演

わらび座ミュージカル「龍馬！」が7月19日、文化会館で公演されました。

このミュージカルは、幕末の英雄「坂本龍馬」が懸命に走り回って生き抜いた青春をユーモアを交え、爽快地に描いたものです。

この日は市民など約420人が来場。和装でタップダンスやフラメンコを踊る場面や、ミュージカルの中で「信じ合えば世界はひとつ」と歌う龍馬の歌声などに観客からは感動のため息が漏れていました。



インターネットで姉妹都市交流

姉妹都市提携20周年を記念して本市とオーストラリア・マッカイ市とのインターネット中継が7月22日、市役所市民ホールで開催されました。

この日は、市の代表や松浦市国際親善協会の会員などが集まり、マッカイ市の議場とをつないだインターネット中継で互いに祝いのコメントを伝えました。マッカイ市の姉妹都市委員の皆さんからは「松浦市を訪れたときは、とても親しみを込めて迎えていただき、初めて行った気がしませんでした。また松浦市に行きたいです」と心温まるメッセージをいただきました。

20周年記念式典は、マッカイ市の市民訪問団受け入れに合わせ、11月28日に松浦市で開催する予定です。



「長崎の鐘」再演

本市出身の劇作家岡部耕大さんが脚本、演出を手掛けた舞台劇「長崎の鐘」が7月16日、文化会館で公演されました。

この演劇は自身も被ばくしながらも、救護活動に当たった故・永井隆博士の半生を描いたもの。本市では、昨年につき2回目の公演となりました。

この日は市民など約200人が来場。原爆投下後に焼け跡から妻の亡きがらを見つける場面や、がれきの中から掘り出された天主堂の鐘を再び浦上の街に響かせる場面では涙する観客もあり、公演が終わると惜しめない拍手が送られました。

まちの話題



自慢ののを披露

七夕の夕べ第2回カラオケ大会（松浦商工会議所女性会主催）が7月18日、きらきら21で行われました。

地域活性化を図ろうと昨年から開催しているものです。この日は、市内の銀行や病院、警察など10組が歌やパフォーマンスで約200人の観衆を楽しませました。松浦警察署チームは歌の披露の前に、振り込め詐欺への注意を呼び掛け、電源開発チームは自転車をこぐなどして発電を表現しながら歌を披露しました。また、中央公園には11団体がそれぞれ飾り付けをした七夕飾りが20日まで展示され、七夕コンテストも行われました。カラオケ大会の上位の結果は次の通りです。

①まつらハイキーズ（松浦高校）②メタボシスターズ（田中病院）③ディライト（カラオケチップトップ）

審査員特別賞 安全・安心・6レンジャー（松浦警察署）

女性会会長賞 松浦衛生事業協同組合



夢は叶うもの

御厨地区青少年健全育成会（西崎光会長）主催の講演会が7月30日、御厨公民館で開催されました。

不慮の事故で両腕を切断し、その後義手で詩や絵の創作活動を通して多くの人を魅了している熊本県の大野勝彦さんが「夢は叶うもの」と題して講演を行いました。

両手を切断したことにより家族や人の優しさに触れ、感謝の気持ちを強く抱いた大野さんは、「皆さんにお返しをしたいと思った。また母を泣かせまいと母が望んだ美術館を建設することを夢に持ち、その一心で美術館を完成させた」と話しました。この日集まった約150人は、目頭を押さえたり、冗談話に笑ったりしながら聞き入っていました。



なんでマン大活躍！

第14回長崎県子ども舞台芸術祭典「なんなんなんでマン」の公演が8月1日、文化会館で行われました。

松浦子ども舞台芸術祭典実行委員会（川副榮子実行委員長）が、生の舞台を見ることで、親子が同じ目線で語り合う話題づくりと、子どもが思いやりや感謝の気持ちなどを学び、心豊かに育ってくれることを願い、毎年開催。この日集まった子どもや保護者など約250人は、間近で繰り広げられる舞台に次第に引き込まれ、出演者が悪者に食べられるシーンでは泣き出す子どもも出るなど真剣に観劇し、会場は笑いや拍手に包まれていました。



人生のゴールは無限

青少年育成ココロねっこ運動推進長崎県大会が7月26日、文化会館で開催されました。

この日は「いまどきの子どもの携帯・ゲーム・ネット事情」と題してNPO法人「子どもとメディア」専務理事古野陽一先生の講演と、「ゴール無限」と題してメキシコオリンピックマラソン銀メダリストの君原健二先生の講演が行われました。君原先生は「スポーツを通して多くのものを得ることができた。充実した人生を生きるには常に目標を持つこと。人生のゴールは無限、自分の目標に向かってそれぞれ頑張ってもらいたい」と話しました。

慶應大学生が松浦市を調査

慶應義塾大学の准教授と10人の学生による市内調査が7月29日から4日間、市内各地で行われました。

これは、県の「地域の強みを活かした地域力向上支援事業」を活用し、「まつうら食・歴史・自然満喫観光ルートの創出」というテーマで取り組んでいる調査事業。本市を訪れたことのない都市部の若者の視点から、魅力ある観光ルートの検討および新たな観光資源の掘り起こしを行っていくものです。

今回は、不老山総合公園、初崎つばき群生林、モンゴル村などの景観・観光施設調査のほか体験型旅行事業の体験や福島町海の駅での交通調査などを行いました。今年度中に調査報告を取りまとめ、来年度からは専門家によるアドバイスを受けながら、報告に基づいた具体的な施策に取り組み、地域産業の振興、観光振興、景観整備につなげていく予定です。



大崎ビーチで初ライブ

サンセットライブ in おおさき（まつうら・ミュージック・パーティー主催）が8月1日、大崎海水浴場特設ステージで開催されました。

ライブには、市内のほか平戸市、波佐見町など約15組のバンドが出演。東京都出身で雲仙市在住のフォークシンガー川田金太郎さんの司会で約6時間のライブが開催され、終了後には花火が打ち上げられました。会場には地元青年団（OBC）による出店も並び、集まった地域の人や若者約500人は、演奏されるバラードに聞き入ったり、歌を口ずさんだり、音楽に合わせて体を動かしたりして音楽を楽しみました。来年も市内の景勝地で開催予定です。



朝食を食べて風車を回そう

松浦市教育会（柴山節子会長）主催の教育講演会が8月10日、松浦シティホテルで開催されました。

講演会では東海大学体育学部教授・医学博士の小澤治夫先生が「子どもを一人前に育てる大人の責任—学力・体力の向上は生活習慣の立て直しから—」と題して講演しました。小澤先生は「意味のあることを熱意を持って上手に教えること、科学的な根拠に基づき、朝食を食べることで排便を促し、学業に集中でき、部活動などで体を動かすことによって心地よい睡眠が訪れ、すっきり目覚めて朝食が食べれるという生活習慣の風車を回すことが学力向上・体力向上につながります」と話しました。



林さんファミリーが松浦を満喫

市が冠スポンサーとなったソフトバンクホークス対広島東洋カープ戦でラッキーゲスト賞「松浦市旅行」に当選した林真治さん（福津市）家族が8月10日から2泊3日、市内各地を観光・宿泊し、本市を満喫しました。

これは、福岡都市圏交流促進事業の一環として開催されたもので本市のPRを目的としています。

この日、市内に宿泊した林さん家族には子どもの誕生日が近いということもあり、名前と誕生日が入ったソフトバンクホークスのレプリカユニフォームなどがプレゼントされました。林さんは「同じ会社に松浦出身の人もいたので松浦市の名前は知っていました。実際に観光して、自然が豊かで海のきれいが印象に残っています。子どもたちもきれいな海での海水浴が楽しかったようです。カブトムシ捕りにも連れて行っていただき、子どもたちのいい思い出ができました。機会があればまた来てみたいし、友人にも紹介したいですね」と話していました。



ドッチボールとミニバレーで熱戦

鷹島地区青少年健全育成会主催による「子ども会地区対抗球技大会」が8月1日、鷹島スポーツ・文化交流センターと鷹島総合運動公園グラウンドで開催されました。この日は、地域の児童、生徒約500人が参加し、保護者や地域の人の応援を背に、日頃の練習の成果を発揮して熱戦を繰り広げました。上位の結果は以下の通りです。



【小学生ドッチボールの部】

①中通 ②阿翁浦A ③殿ノ浦

【中学生ミニバレーボールの部】

①中通 ②阿翁浦A ③三里

力を合わせ和船競漕

第5回星鹿町みなと祭り・和船競漕大会が8月2日、星鹿港で開催されました。

地域の青少年に、海を愛し親しむ心を持ってもらおうと星鹿町青少年健全育成会（香林亮善会長）が2年に一度開催しています。

和船競漕は地区対抗、団体（チーム）対抗などの各部門に21チームが出場。地区対抗の三世代の部では、小学生からお年寄りまで5～10人が長さ8尺、幅2尺の木造和船に乗り込み、3隻が往復約300尺の特設コースで順位を競いました。思うように進まず沖に向かう船もあり、観客からは笑いと歓声が上がっていました。



各地で精霊流し

初盆を迎えた霊を船に乗せて送る精霊流しが8月15日、市内各地で行われました。

星鹿町川原辺田地区では、昨年から同地区と道楽会（池野晋一代表）が共催して、精霊流しに加え花火を打ち上げたり、大スクリーンで故人の映像を映し出したりしています。

この日、同地区内の漁港に集まった同地区住民をはじめとする星鹿町の住民や御厨町の住民約300人は、故人へのメッセージとともに打ち上げられる花火を眺めたり、大スクリーンに映し出された映像を見たりしながら故人をしのび、静かに故人の霊を送り出していました。



交通安全子ども自転車県大会で5位入賞

第34回交通安全子ども自転車長崎県大会（長崎県警察本部、財団法人長崎県交通安全協会、各地区交通安全協会主催）が7月30日、県立総合体育館で開催され、本市から出場した今福小学校が団体5位（長崎県交通安全協会会長賞）に入賞しました。

同大会は、自転車競技を通じ、児童に交通安全についての興味と関心を持たせ、交通知識を身につけさせることなどを目的に開催。各地区1チーム、小学校1校から4人の選手が出場し、学科テストと実技テストの成績により順位を決めるものです。

団体の部には県内から23チームが出場し、今福小学校は見事5位に入賞しました。



わんぱく相撲全国大会に出場

養源小6年生の吉田大地君（福島・土谷）が5月24日に平戸市で開催された「第18回わんぱく相撲北松浦大会」で優勝、6月14日に時津町で開催された「第6回わんぱく相撲長崎県代表選手選考大会」で3位に入賞し、全国大会出場権を手に入れました。

第25回わんぱく相撲全国大会は8月2日、東京両国国技館で開催。吉田君は、6年生の部個人戦に出場し、4回戦までこまを進め、134人中ベスト32に入ることができました。

大会前日には大相撲木瀬部屋に体験宿泊しました。



ソフトボールで全国優勝

志佐少年ソフトクラブに所属する志佐小5年生の松永佳奈さん（志佐・上野）が、佐世保ひまわりソフトボール部の一員として、第23回全日本小学生女子ソフトボール大会に出場し、見事全国優勝を果たしました。

松永さんは、市内に女子チームが無いため佐世保ひまわりソフトボール部にも所属。志佐小学校で火曜日以外毎日夕方約2時間行われている志佐少年ソフトクラブの練習に参加し、毎週土曜日午後には日野小学校で4時間半、佐世保ひまわりソフトボール部の練習に参加しています。



前列一番左が松永さん

8月1日から4日まで東広島市で行われた同大会には、全国から48チームが参加。松永さんのチームは、東京、大阪、静岡などのチームをすべて0点に抑えて下し、見事優勝をしたものです。

松永さんは「優勝することができて6年生とのいい思い出ができました。試合ではバッティングがしっかりできるように心掛け、2塁打、3塁打が打ててよかったです。来年も部員が集まって、また全国大会に参加し、優勝したいです」と話していました。



旬「御厨ぶどう」

御厨ぶどう祭りにぎわう

御厨ぶどう祭り（ながさき西海農協松浦地区御厨ぶどう部会主催）が8月8日、9日の両日、Aコープみくりや店前広場で開催されました。

御厨ぶどうは、星鹿半島を中心に16戸の農家が約6.0畝に「巨峰」と「安芸クイーン」をハウス栽培しており、県内市場に出荷されています。



今年は開花時期に好天に恵まれ、糖度も18度以上と高く、実のつき、粒の大きさともに最高の出来。用意された約2,100箱の御厨ぶどうは飛ぶように売れていました。

また、会場には地方発送コーナーも設けられ、まつりに訪れた人は御厨ぶどうを遠方の家族や知人に送っていました。

ぶどうの品評会で5人が受賞

第34回ながさき西海農協松浦地区御厨ぶどう品評会が8月4日、ながさき西海農協御厨支店で行われました。

ぶどう生産農家の生産技術の向上などを目的に毎年開催。今年は市内から42点の出品があり、その中から次の方が受賞しました（敬称略）。

- | | |
|------|---|
| 最優秀賞 | 本山雄一 ^{ゆういち} （星鹿・下田）…県知事賞 |
| 1等賞 | 白石久夫 ^{ひさお} （星鹿・牟田）…松浦市長賞 |
| | 福田集一 ^{しゅういち} （星鹿・牟田）…全農長崎県本部長賞 |
| 2等賞 | 山崎英紀 ^{ひでのり} （星鹿・牟田）…長崎大同青果賞 |
| | 大野勝三 ^{かつぞう} （星鹿・牟田）…佐世保青果賞 |

いじめをなくそう！— 児童・生徒代表者会議 —

市内の小中学校の代表者がいじめ問題について意見交換をする代表者会議が開かれました。いじめ根絶を目的として、毎年開催されています。

児童代表者会議 「なかよし松浦っ子会議」 7月30日、市役所市民ホール

市内の小学校12校の児童代表者や保護者約50人が参加。「笑顔いっぱいの松浦市にするために」というテーマに沿って、議長団の調川小学校の児童が会議を進めました。

各学校の発表では、それぞれの学校でいじめ根絶に向けた取り組みとして、全校児童参加の交流集会や学年を超えて行う縦割り班での給食や掃除の取り組みが発表されました。また、市内の全小学校で取り組むこととして、学校、学年、地域のコーナーなどを設けた新聞を各学校で作成し、紹介し合うことを決めました。



生徒代表者会議 「松浦リーダーズミーティング」 7月31日、市役所市民ホール

市内の中学校7校の生徒代表者や保護者など約40人が参加。会議では、御厨中学校の生徒代表が議長団を務め、それぞれの学校でのいじめ根絶に向けての取り組みや生徒会活動を発表しました。

体育館で行う生徒集会を先生と全校生徒が正座をして行うという御厨中の伝統や鷹島中の校内年賀状、青島中の「しゃべり場」の取り組みなど各学校の活動を紹介しました。また、各学校で決めた標語を持ち寄り発表しました。





わがまちの夏まつり



今年も、市内各地域で夏まつりが行われ、地元住民や子どもたちも元気に参加しました。



7月25日
鷹島モンゴル村夏祭り
(鷹島公社主催)

7月25日
疫神社夏祭り今福花火大会
(松浦商工会議所今福支部青年部主催)



8月12日
鷹島町花火大会
(鷹島町青年団主催)



8月14日
福島町盆フェスタ 2009
(盆フェスタ 2009 実行委員会主催)



8月15日
志佐町納涼花火大会
(志佐商工振興会主催)





夏休みの思い出アルバム



水の週間にウナギとカニを放流

8月1日～7日の「第33回全国水の週間」にちなんでウナギとカニの放流が8月3日、志佐川で行われました。

今回で6回目となるウナギとカニの放流は、市上下水道課が平成16年度から実施している水の大切さなどの理解を深める親水活動の一環として行われたものです。

この日は、志佐小学校と上志佐小学校の児童、九州電力と電源開発の社員、ボランティアグループ「川西会」など約50人が参加。ウナギ約300匹とモクズガニ約400匹を放流し、きれいな志佐川を願いました。



頑張れ！もっと引っ張れ！

— 夏休み恒例 カブトムシ綱引き大会 —

夏休み恒例行事のカブトムシ綱引き大会（今福公民館主催）が8月5日、今福公民館で開催されました。

今年は、小学生26人が自慢のカブトムシを持ち寄って参加し、今福町長寿連合会（川久保孟彦会長）の会員約10人が審判を務めました。

直径80^{センチ}の土俵の上で、2匹のカブトムシの角にひもを結びつけ、土俵の板をドンドンとたたきながら、どちらが引く力が強い^{ゆきな}かを競いました。

結果は田中佑希奈さん（今福・人柱、今福小3年）が優勝。田中さんは「今年で3回目の参加です。カブトムシはおじいちゃんが山で捕ってきてくれました。1番になれてよかったです。また来年も出場したいです」と話しました。

またこの日は、クワガタムシ美虫コンテストも行われ、水田蓮君（調川・江口2、調川小3年）が優勝しました。



豆力士が熱戦 — 千燈籠奉納相撲大会 —

郭公尾地区の伝統行事千燈籠奉納相撲大会が8月17日、御堂様前広場で行われました。

郭公尾自治会（立石次男区長）が、地域住民の親ぼくと子どもたちの健全育成を願い毎年実施しています。

土俵上では、地元の園児・小中学生など約10人の豆力士たちが熱の入った取組を展開。押し出しなどの技が決まるたびに集まった観客から歓声が上がっていました。

取組が終わると子どもたちや観客に、1年間の健康を願って、地区住民の手で作られた「力飯^{ちからめし}」と呼ばれる大きなおむすびが振る舞われました。

星鹿じゃんがら・牟田じゃんがら —お墓たいて無病息災—

無病息災や五穀豊穡を願う盆の行事「じゃんがら」が8月15日、星鹿地区と牟田地区で行われました。

星鹿地区の「星鹿じゃんがら」では、法被姿の子どもや大人約50人が地区一帯を練り歩き、僧の墓



「星鹿じゃんがら」

とされる石塚や浄土寺境内で長さ約20mの「大のぼり」や子ども用の「小のぼり」を地面に打ち付け、豊漁や無病息災を祈願しました。

牟田地区の「牟田じゃんがら」には地元住民や帰省した親子など約50人が参加。「御厨徳」の墓とされる場所で、子どもたちがのぼりで墓を突いて、豊作や無病息災を祈願しました。



「牟田じゃんがら」

鷹島町と福島町で国内交流

●ホークス交流事業

7月26日から30日にかけて北海道鷹栖町と本市の児童が14回目になるホークス交流を行いました。

この事業は、夏休みに鷹栖町の児童が本市を訪れ、冬休みに本市の児童が鷹栖町を訪問し、互いの環境の違いや地域文化の違いを体験し、交流を図ることを目的に行われています。

今回は梅雨明け前で、真夏の日差しや真っ青な海も体験



できませんでした。元寇の史跡を巡ったり、海水浴、モンゴル村ゲル宿泊、松浦火力発電所見学などを体験し、地域の人々や、家族とのつながりを深く感じる交流となりました。



—ホークス交流と三福島交流—

●三福島町交流生徒学習交流事業

8月7日から10日かけて、長野県木曽町と本市の生徒が三福島町生徒学習交流を行いました。

この事業は、北海道福島町、長野県木曽町、本市の間で行われている中学生を対象とした交流事業で、広い視野と豊かな郷土愛を持つ人材の育成を目的として行われています。今年は夏に木曽町の中学生が本市を訪問し、冬には、本市の中学生を木曽町と北海道福島町へ派遣する予定です。

今回は、木曽町の6人の生徒が、福島町の家庭にホームステイし、志佐中学校訪問や、魚釣り、市内見学などをして交流を深めました。



各競技で熱戦！ 松浦市民体育大会

第4回松浦市民体育大会が、8月2日のバドミントン競技の結果は、次の通りです。

バドミントン

8月2日 文化会館

男子Aクラス

- ① 田口和彦・井村卓司
- ② 林田登志男・浜田真作
- ③ 長岡学・南里貴重

男子Bクラス

- ① 山田浩介・中山雅和
- ② 川内野浩市・高濱明
- ③ 前田初男・福田達也

女子Aクラス

- ① 濱本奈央・川本明美
- ② 川渕智子・田口るみ
- ③ 川本愛実・平田朋美

女子Bクラス

- ① 和田若菜・坂井睦美
- ② 前田知美・吉原裕子
- ③ 南美佐恵・北川磨貴子

女子Cクラス

- ① 梅林佐智代・平岩チャンウォン
- ② 福永かおり・山崎尚美
- ③ 柴田澄江・前田和枝

福島町で一般卓球大会開催

第39回福島町一般卓球大会（市体育協会福島支部（卓球部）主催）が8月2日、福島体育館で開催されました。同大会は団体戦と個人戦の2部門で行われ、16チーム約80人の選手が参加しました。上位の結果は以下の通りです。

〈団体戦〉

- 【優勝】 播磨釜 A 【準優勝】 伊万里釜 A
 【第3位】 土谷 【敢闘賞】 日の浦 A

〈個人戦〉

男子Aパート

- 【優勝】 樋口 勇次
 【準優勝】 徳田 和晃
 【第3位】 中山 愛斗
 徳田 聡輝

女子Aパート

- 【優勝】 池田由美子
 【準優勝】 木寺由記子
 【第3位】 渡邊 由紀
 金子美由紀

男子Bパート

- 【優勝】 志水 勝輔
 【準優勝】 金子 拓彰
 【第3位】 小島 昇
 渡邊 一誠

女子Bパート

- 【優勝】 志水亜佳子
 【準優勝】 志水 莉紗
 【第3位】 中山 奈桜
 篠崎 明

青少年の健全育成と非行防止を 呼びかけ大会開催

第20回松浦地区防犯少年ソフトボール大会（松浦地区少年補導員連絡協議会・松浦警察署主催）が7月25日、市民運動公園で開催されました。

大会には市内から6チーム約100人が出場し、熱戦を繰り広げました。なお上位1チームが8月22日、23日に行われた県大会に松浦市代表として出場しました。本大会の上位の結果は次の通りです。

- ① 調川少年ソフトクラブ ② 今福少年ソフトクラブ
 ③ 星鹿少年ソフト ④ 鷹島ホークス



ソフトボールで親ぼく

第22回労政協親善ソフトボール大会（松浦市商工業労政推進協議会主催）が7月8日から22日にかけて、ニッチツグラウンドで開催されました。

労働者相互の親ぼくと体力向上を図ることを目的に、毎年開催されています。

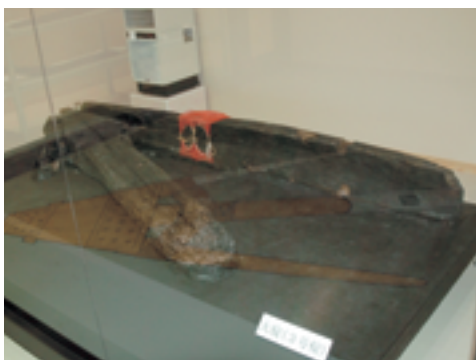
今大会には市内の14事業所から19チーム、約370人が参加。22日の決勝戦では、女性キャッチャーがフライを見事にキャッチする場面が2回あり会場を沸かせるなど、元気いっぱいのプレーで親ぼくを深めていました。上位の結果は次の通りです。

- ① 松浦衛生事業（協） ② 中興化成工業(株)第2工場
 ③ 中興化成工業(株)SC部



中世の松浦（10） 鷹島海底遺跡

平成6年11月、鷹島神崎港改修工事に伴う鷹島海底遺跡の発掘調査で、水深20メートルから22メートルの海底から木製碇（長さ約2メートル）が碇石を装着した状況で初めて確認されました。これまで碇石は海底から引き揚げられることはありませんでしたが、どのように取り付けられていたのかは想像するしかありませんでした。それだけにこの木製の碇の発見は、当時の船の碇の研究上極めて重要で画期的な成果でした。蒙古の碇石と伝わるものは博多湾などから引き揚げられていて、長さが約2メートルを超す巨大なものが多く、鷹島で発見されていた碇石は長さが約1メートル前後のものが多く、半分に折れたものではないかと考えられていましたが、この調査で折れたものではなく木製の碇の碇身を挟んで左右にほぼ同じ大きさの碇石を一個ずつ装備していることが確認されました。この調査では木製の碇が9基発見され、そのうち4基が並んだ状態で検出されています。これらの碇は元の軍船のものであったと考えられます。現在、木製碇はポリエチレン・グリコールによる保存処理が終了したので、鷹島埋蔵文化財センターで一般公開しています。



▶ 鷹島埋蔵文化財センターに展示されている碇



新しいALTを紹介します

新しく2人のALTの先生が赴任しましたので紹介します。

①名前（年齢） ②出身国 ③担当校 ④趣味・特技 ⑤市民へのメッセージなど



- ①トロイ・ユウ・ルイス（24）
- ②アメリカ合衆国
- ③大崎小学校、田代小学校、志佐小学校、今福小学校、鷹島小学校

- ④読書、映画鑑賞、スポーツイベントに行くことが好きです。時間があるときは旅行や釣りも楽しんでいます。
- ⑤松浦に配属されたことを幸運に思います。市民の皆さんと親しくなること、学校で教えることを楽しみにしています。



- ①ハナ・レベッカ・コンクリン（24）
- ②アメリカ合衆国
- ③御厨中学校、志佐中学校、鷹島中学校
- ④ドラムを演奏することが大好きです。ギターも練習中です。バンド

- を始めようかと考えている方がいらしたらお知らせください。
- ⑤松浦に住んで、仕事ができることをとてもうれしく思います。松浦はとても美しいところで、皆さんがとても歓迎してくれていることを感じています。これから皆さんともっともっと知り合いになれることを楽しみにしています。



おしえて館長！

このコーナーでは利用者の皆さんから寄せられた図書館に対する疑問質問に館長が答えていきます。皆さんの声をお待ちしています！

Q. 来館者の方から「7、8月は中学生や大人の方が仕事をしていましたがどうなっているのですか」という問いがありました。

A. 館長「今、中学校・高校では1、2年で「職場体験学習」、教職員では「社会体験研修」という学習・研修が取り入れられています。早い段階で職業についての予備知識を勉強し、その後の進路選択に生かすという目的（教職員は視野の拡大・社会性の向上を図るなどの目的）です。3～4日間の体験ですが生徒の皆さんは大きく成長しています。図書館では今年度4中学校9人、1高校1人、教職員4人を受け入れます。利用者の皆さんよろしくをお願いします」



職場体験学習の様子

この本！（本の紹介）

- ・吸血鬼ドックへご案内 赤川次郎／集英社
 - ・寂しい写楽 宇江佐真理／小学館
 - ・ジパング島発見記 山本兼一／集英社
 - ・星間商事株式会社社史編纂室 三浦しをん／筑摩書房
 - ・脳で旅する日本のクオリア 茂木健一郎／小学館
 - ・良寛椿 片岡鶴太郎／佼成出版社
 - ・画期的！漬けない無塩梅干し&毎日混ぜないぬかみそ 小島みち子／講談社
 - ・まねる力 勝間和代／朝日新聞出版
 - ・かいけつゾロリ きょうふのちょうとつきゅう 原ゆたか／ポプラ社
 - ・にじいろのさかなうみのそこのぼうけん マーカス・フィスター／講談社
 - ・もったいないばあさんのいただきます 真珠まりこ／講談社
 - ・命の教室—動物管理センターからのメッセージ 池田まき子／岩崎書店
- *予約・リクエストは、カウンターかきらきら号で申し込んでください。
*順番を待っている人がいます。返却期限を守りましょう。



問合せ先 健康ほけん課

9月は「健康増進普及月間」です！！

糖尿病・がん・心臓病・脳卒中に代表される生活習慣病は、毎日の生活習慣の積み重ねによって起こるため、より良い生活習慣を保つことで予防ができる病気です。

1に運動 2に食事
しっかり禁煙 最後にクスリ
～良い生活習慣は、気持ちがいい！～

というこの普及月間のテーマにもあるように、健康づくり（生活習慣の改善）には運動・食事・禁煙などが重要なキーワードとなります。

市が策定している健康づくり総合計画「いきいき松浦21」では、特に運動に着目しているので、その内容の一部を紹介します。

- ・1日歩く量の目標は8,000～10,000歩
 - ・現在の歩く量を1,000歩（10分程度）増やすことから始める
 - ・エレベーターではなく階段を使って昇り降り
 - ・買い物や外食の時に車を使わずお店まで歩いて行く
- 「健康づくりの必要性は分かっているんだけど…」という声を多く耳にします。しかし家庭のために仕事をするのも、趣味を楽しむのも、全ての生活の基本はまず健康からです。これを機に自分の健康を振り返り、小さなことから1つずつ自分のできる健康づくりに取り組んでみてはいかがでしょうか！



温かい心ありがとうございます

一般寄付

- 松浦市へ金一封
- 山本 キクノ様(埼玉県蓮田市)
- 今福中学校へ金一封
- 松浦商工会議所今福支部青年部様(今福町)

香典返し・忌明・寄付

- 市立図書館へ金一封
- 内野 紀子様(志佐・里2)
- 亡夫 正昭様

●松浦市社会福祉協議会へ金一封

【本所】

- 山本 征子様(今福・人柱)
- 亡夫 壽年様
- 福島 一恵様(調川・江口1)
- 亡妻 輝様
- 山本 フク様(今福・人柱)
- 亡夫 今朝治様
- 山田 慶治様(星鹿・星鹿)
- 亡母 ヨシ子様

【福島支所】

- 垣内 弘様(福島・鍋串)
- 亡母 シゲノ様
- 木寺 シズ様(福島・伊万里釜)
- 亡夫 九一様
- 川村 康様(福島・伊万里釜)
- 亡父 鳴人様
- 永田 雄治様(福島・浅谷)
- 亡母 ミエ様

【鷹島支所】

- 板谷 洋幸様(鷹島・阿翁浦)
- 亡母 ツヤ様
- 吉永 忠敏様(鷹島・船唐津)
- 亡父 敏幸様
- 神田ヨシエ様(鷹島・三里)
- 亡夫 文吉様
- 生属ミヨ子様(鷹島・阿翁浦)
- 亡夫 徳市様
- 梶村 末吉様(鷹島・神崎)
- 亡母 トヨ様
- 松瀬 民子様(鷹島・里)
- 亡夫 満様

●御厨・星鹿地区社会福祉協議会へ金一封

- 村井 八郎様(御厨・西木場)
- 亡妻 シマ子様

●調川地区社会福祉協議会へ金一封

- 福島 一恵様(調川・江口1)
- 亡妻 輝様
- 宮崎 信一様(調川・平尾)
- 亡妻 ハツ子様
- 宮崎チエノ様(調川・平尾)
- 亡夫 米一様
- 山本 フク様(今福・人柱)
- 亡夫 今朝治様
- 今福地区社会福祉協議会へ金一封
- 富永 一成様(今福・元町)
- 亡妻 キク様
- 二村 英喜様(今福・西新町)
- 亡母 ハル子様
- 森山久美子様(今福・東新町)
- 亡夫 義彦様

戸籍だより

7月15日～8月14日届出(敬称略) ※希望者のみ掲載

結婚 おめでとう

- 吉山 祐樹 調川・平尾
- (中瀬) 茉耶 平戸市
- 山口 博史 調川・江口3
- (平松) 香里 調川・江口3
- 坂本 勇作 鷹島・日比
- (白石) 亜由美 星鹿・川原辺田
- 西田 一成 御厨・小船
- (松瀬) 朝美 平戸市
- 本村 新 調川・前浜
- (長門) 美穂 兵庫県神戸市
- 濱本 岳人 志佐・元町
- (山口) 文子 星鹿・星鹿
- 徳田 和晃 福島・喜内瀬
- (松尾) 美穂 伊万里市

お誕生 おめでとう

- 谷川 光希(功) 御厨・御厨屋進
- 赤木 拓哉(英司) 今福・人柱
- 廣川 慶聖(聖貴) 御厨・池田上
- 谷川 皓人(誠治) 志佐・池成
- 長谷川 雅皇(慎二) 今福・北東1
- 吉浦 千夏(健作) 志佐・蛭子崎東
- 松園 映那(務) 志佐・不老山
- 井戸 夏花(晴彦) 御厨・長嶺団地
- 森 愛華(卓也) 御厨・御厨団地
- 吉田 聖王(貴洋) 福島・伊万里釜
- 池田 茜(滋樹) 志佐・里2
- 梶原光一朗(祐二) 御厨・前田
- 大川内琢真(嘉輝) 御厨・寺ノ尾下

ごめい福を お祈りいたします

- 浦田 翔(昇吾) 志佐・立町
- 都市 瑛斗(博) 志佐・田原高層
- 渡邊 優(幸二) 鷹島・阿翁浦
- 富森 晴(康史) 今福・人柱
- 宮崎 歩陸(大作) 調川・平尾
- 小倉 愛葵(薫) 御厨・池田
- 一ノ瀬ユキエ(87歳) 志佐・笛吹
- 永田 修一(81歳) 今福・北東1
- 末竹禎次郎(77歳) 志佐・向町上
- 吉永 敏幸(72歳) 鷹島・船唐津
- 川村 鳴人(77歳) 福島・福崎
- 岩本 ツル(90歳) 星鹿・下田
- 川畑ミヨ子(81歳) 星鹿・大石
- 豊福ハル子(92歳) 調川・前浜
- 大川内キクエ(84歳) 志佐・稗木場
- 立木 勉(58歳) 今福・福徳
- 梶村 トヨ(101歳) 鷹島・神崎
- 岡 洋一(59歳) 今福・北東1
- 安永 勝重(72歳) 御厨・西木場
- 加藤 剛(90歳) 御厨・中野
- 瀧本 トワ(96歳) 御厨・前田
- 安永 秀夫(95歳) 御厨・中野
- 廣田 順子(49歳) 今福・人柱
- 平野 重行(79歳) 星鹿・川原辺田
- 陣内 義人(84歳) 御厨・大崎下
- 小川ヤスヨ(72歳) 今福・楠籠団地
- 久保川リノ(94歳) 志佐・白浜
- 香林 亮俊(76歳) 星鹿・大石
- 丸田平八郎(68歳) 御厨・神原

